

第71期

通期

2018.4.1-2019.3.31

証券コード:2897

NISSAN REPORT

次世代型
スマートファクトリー
関西工場
始動!



2018年10月に稼働を開始した日清食品の「関西工場」は、最新鋭の設備の導入とIoT技術の活用により、自動化と効率化を図り、安全・安心な製品の製造を徹底的に追求した未来のラーメン工場です。

関西工場概要

名称: 日清食品株式会社 関西工場
所在地: 滋賀県栗東市下鈎21-1
生産品種: カップめん、袋めん
稼働年月: 第1期 2018年10月、第2期 2019年3月、
第3期 2019年12月(予定)
敷地面積: 99,865m² / 工場延床面積: 118,928m²

次世代型スマートファクトリー

NISSIN KANSAI FACTORY

始動!!!

POINT
1

敷地面積は
甲子園球場

2.6

個分

敷地面積は約10万m²で、阪神甲子園球場2.6個分にあたります。横幅300m、奥行150mの工場内には10本の生産ラインが設置され、日清食品を代表するさまざまな製品をつくっています。



POINT
2

食の安全性強化

自動化 無人化

ロボット技術、「the WAVE」が独自開発した最新鋭設備の導入とIoT技術の活用によってこれまで人の手で行っていた作業工程の自動化と効率化を図り、製品の安全性とコスト競争力の向上を実現しています。



POINT
3

生産能力は
年間最大

10

億食

全長200mの生産ラインでは1分間に400食ものスピードで生産されており、小麦粉を入れてから約40分で「カップヌードル」が完成します。工場全体では1日最大400万食、年間最大10億食を生産できる国内最大級の工場です。



POINT
4

不良品発生率は

1

100万食以下^{※1}

「関西工場」では世界最高水準の品質管理システムを構築しています。工場内に700台の品質管理カメラを設置し、「NASA室^{※2}」と呼ばれる自動監視管理室では工場内すべての情報を画面上で一元管理しています。

※1 宇宙ロケット打ち上げの安全基準よりさらに高い安全性
※2 Nissin Automated Surveillance Administration室



CEO INTERVIEW

食の未来を拓く

NISSINは
常に前進する!

発売60周年を迎えた「チキンラーメン」ブランドが過去最高の売上を記録したNISSINは、「100年ブランドカンパニー」に向けどう成長を続けていくのか。安藤CEOに聞きました。

代表取締役社長・CEO

安藤 宏基
Koki Ando

UNLOCK THE FUTURE

Q まずは、昨年の取り組みについて振り返りをお願いできますか。

国内も海外も、売上は順調に伸びました。国内で特筆すべきは、「カップヌードル」「日清のどん兵衛」「チキンラーメン」といった日清食品のメインブランドが、いずれも過去最高の売上を記録したことです。

中でも、2018年に発売60周年を迎えた「チキンラーメン」ブランドが史上最高売上を達成したことは、大変喜ばしく思っています。

60周年に向けて、日清食品では2017年から、健康志向の強いシニア層に向けた「お椀で食べる」シリーズや若者をターゲットにした「具付き3食パック アクマのキムラー」を開発し、新たな需要を開拓しました。

加えて、テレビCMやSNSなどを活用したユニークなブランドコミュニケーション、積極的な販促活動などさまざまな施策を続けたことが、ファン拡大につながりました。

当社グループでは“100年経ってもなお、お客様から愛され、鮮度を維持し成長し続けるブランド群を育成する”という意味を込め、「100年ブランドカンパニー」になることを目指しています。今回、発売から60年もの年月が経ったブランドにおいて史上最高売上を達成できたことは、その実現に向けて、大きな自信となりました。

Q 「中期経営計画2020」の進捗はいかがですか。

「中期経営計画2020」は5か年計画の3年目を終了しました。収益基盤である国内事業は、即席めん事業の中核をなす日清食品や明星食品、その他にも冷凍事業が売上を伸ばしています。

海外事業においては、世界最大の即席めん消費国である中国で今後も安定的な成長が見込まれます。また、タイ事業においては、工場の安定稼働に加え、カップめんや付加価値の高い袋めんの売上が順調で、安定した黒字化を達成しています。

ブラジル、メキシコ事業では「カップヌードル」に代表される高付加価値製品戦略を展開したことが奏功し、現地通貨ベースの売上が大きく成長しています。

一方、米国では原材料費、人件費、物流費の高騰など厳しい状況が続いていることから、収益性の改善に向け、価格改定を進めています。また、当期決算において工場の固定資産減損処理を実施しました。ブラジルにおいても無形資産の減損処理を行いました。

この結果、当社グループの2019年3月期の売上収益は前期比2.3%増の4,510億円、営業利益は前期比17.6%減の290億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比

33.6%減の194億円となりました。

これを受け、今回「中期経営計画2020」の数値目標(KPI)のうち、主に海外事業の実情に合わせた修正と、不確定要素の多いM&Aを予算から外すことで、2020年の売上収益目標を5,500億円から4,800億円に、当期利益目標を330億円から300億円に修正することにしました(「中期経営計画2020」の修正については特設ページ(P.7-8)をご参照ください)。

今回一部計画の見直しを行うことになりましたが、国内収益基盤のさらなる盤石化と、「カップヌードル」のグローバルブランディングを中心として海外事業を拡大し、グローバルカンパニーとしての評価獲得を目指すという「中期経営計画2020」の方向性に変わりはありません。

時価総額1兆円については、将来の通過点としてとらえ、企業価値の向上に引き続きまい進していきます。

Q 利益回復に向けた施策について教えてください。

利益回復に向け海外事業の中で注視すべきなのは、主に新興国市場です。そのうち、インドネシアについては黒字化が見えてきました。新興国市場は今後、どこまで利益を伸ばすかというステージにきています。

米国については、価格改定による収益力の強化、高付加価値製品の投入による製品ポートフォリオの見直し、継続的なコスト改善によって、早期の立て直しを図ります。

国内においては、小麦、具材、包材などの原材料価格の高騰、製造労務費、物流費などの上昇を受け、2019年6月1日出荷分から日清食品および明星食品の即席袋めん、即席カップめん、即席カップライスの製品価格を改定させていただきました。価格改定によってコスト増を吸収するだけでなく、「安全・安心」かつ高品質な製品の開発にさらに磨きをかけていきます。

今回、減損処理を実施したことで、財務の健全性は一段と高まりました。国内外ともに売上は順調に推移していることから、2020年3月期は利益の回復を達成できるものと考えています。

Q 2018年10月に関西工場が稼働開始しましたね。

「関西工場」は、安全性と生産性の向上を追求した「次世代型スマートファクトリー」です。

国内では労働力の確保が大きな課題となっている中、「関西工場」はロボット技術やAIの活用により大幅な省人化を実現しました。

また、IoTをはじめとする最新技術を取り込

むことで、熟練の生産技術者たちが持つ知見やノウハウをデジタル化し、その再現性を高めていきます。さらに、IoTデータを外部の取引先や他の工場とリンクさせることで、“自ら改善できる工場”となっていくでしょう。

「関西工場」の稼働は、当社グループ全体のデジタル変革に向けた、大きな一歩だと考えています。

Q 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

世界では社会的責任を果たせない企業は存続できない時代となってきており、当社グループでは社会課題の解決を基軸にしながら、ESG(環境、社会、ガバナンス)に対する取り組みを、一層強化しています。

例えば、人材面においては、2016年からダイバーシティ(多様性)の推進を目指し、全従業員が活躍できる環境を整える活動を進めています。

「関西工場」では、地球環境の保全への取り組みとして、森林破壊防止や農園労働者の人権などに配慮されたパーム油^{※1}を使用した製品の製造を開始しました。これは国内即席めん業界では初^{※2}となる取り組みです。

こうした取り組みが評価され、世界的なESG投資の株価指数である「Dow Jones



Sustainability Indices(DJSI)」における「Asia/Pacific Index」の構成銘柄にも選定されました。

2018年の国内即席めんの総需要は57.8億食と、4年連続で過去最高を更新しましたが、これは人口減少の環境下にあっても、新たな需要を掘り起こすことができればまだまだ成長できる市場であることを示すものです。

今後もNISSINは歩みを止めることなく、100年愛される企業を目指し努力していきます。これからのNISSINに大いに期待してください。

※1 認証パーム油調達のため、日清食品ホールディングスは2017年10月に「RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)」に加盟
 ※2 対象:日本即席食品工業協会加盟の即席めんメーカー37社。日清食品ホールディングス調べ(2019年3月1日現在)

2020年3月期は
利益回復の達成を目指す

中期経営計画2020の見直しについて

2020年度目標の見直し

- ・2016年5月12日に発表した「中期経営計画2020」の目標を一部修正することにしました。
- ・今回の修正は海外事業の現状に合わせた目標の修正と、当初計画に織り込んでいたM&Aを予算外化したことによる修正となります。
- ・主な変更点としては、売上収益目標を5,500億円から4,800億円に、営業利益目標を475億円から425億円に、純利益目標を330億円から300億円に修正しました。

修正中期経営計画KPI(IFRS)

		見直し前	見直し後
本業で稼ぐ力	売上収益	5,500 億円	4,800 億円
	営業利益	475 億円	425 億円
資本市場価値	純利益 ^{※1}	330 億円	300 億円
	ROE	8 %	8 %
	調整後EPS ^{※2}	330 円	284 円
	時価総額 ^{※3}	1 兆円	—

時価総額1兆円は、時期に
こだわらず通過目標として
着実に目指していく

※1 IFRSにおける「親会社の所有者に帰属する当期利益」

※2 (営業利益±その他収益・費用－税金費用－非支配持分に帰属する当期利益) ÷
期中平均発行済株式数(自己株式控除後)

※3 時価総額=株価×期末発行済株式数(自己株式控除後)

5つの戦略テーマに関する振り返り

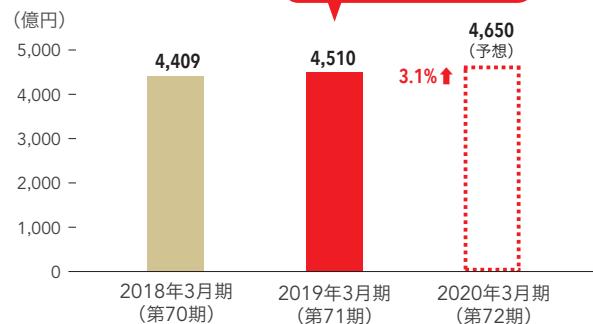
- ・中期経営計画の柱として考えている5つの戦略テーマについては、見直しは行いません。

戦略テーマ	当初 20年度ターゲット	18年度実績	20年度見通し	コメント
1 カップヌードル Global Branding	2015年度比 1.5倍 (食数)	1.2倍	約1.3倍	<ul style="list-style-type: none"> ・米国事業の価格改定の影響もあり、全体の進捗は遅れ気味 ・ブラジル、アジア地域の成長に期待 ・市場の状況に応じ、「カップヌードル」にこだわらずプレミアム商品の成長機会をうかがう
2 重点地域への集中 (BRICs)	海外内営業利益 構成比 70%	—	約70%	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成見込み
3 国内収益基盤の 盤石化	日清食品+明星食品 291億円 営業利益目標	257億円	295億円	<ul style="list-style-type: none"> ・関西工場の稼働(生産の効率化、安全・安心) ・価格改定による収益基盤の安定化(想定外のコスト増に対応) ・コアブランドのさらなる価値向上
4 第2の収益の柱の構築 (菓子・シリアル・低温)	オーガニック成長に 加え積極的に M&Aを活用	M&A案件を予算外化 引き続き良案件の検討を進める		<ul style="list-style-type: none"> ・菓子ビジネスは堅実な成長 ・シリアル事業のマーケットで存在価値の拡大 ・特に冷凍事業はマーケットの成長、個食ニーズの高まりを受け売上拡大 ・より収益性の高いビジネスへの変化が必要
5 グローバル経営人材 の育成・強化	経営人材プール数 2倍 (200人)	1.8倍 (約180人)	2倍 (200人)	<ul style="list-style-type: none"> ・リストは充足しつつある ・計画的な異動に向けたプラン作成が必要

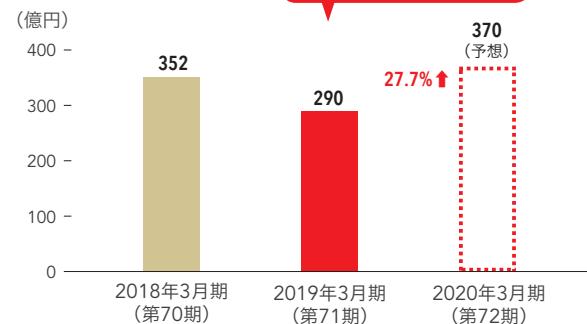
連結業績ハイライト

- POINT**
- 国内は60周年を迎えた「チキンラーメン」に加え「カップヌードル」と「日清のどん兵衛」が過去最高の売上を達成。海外は中国事業・アジア地域がけん引したことから、売上収益は101億円増収の4,510億円となった。
 - 営業利益は290億円と前期比62億円の減益を計上。国内は不動産売却益が寄与し74億円の増益となる一方、海外はアジア地域が増益に寄与したものの、米国の固定資産減損により計52億円の減益。また無形資産の減損と前期の持分変動調整計上の反動などで78億円のマイナスを計上した為、大幅な減益となった。

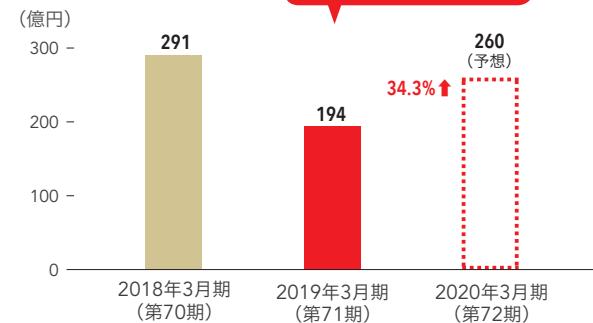
売上収益



営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益



- 当第1四半期より、当社グループの連結財務諸表および連結計算書類について、国際財務報告基準(IFRS)を適用しており、本誌においてもIFRSベースでの報告とさせていただきます。これに伴い、2018年3月期(第70期)の諸数値についてもIFRSベースで表示しております。
- 財務数値に係るIFRSと日本基準との差異についてはIRサイトをご覧ください。

IR

ウェブサイト
株主・投資家情報(IR)

<https://nissin.com/jp/ir/>

IRライブラリー

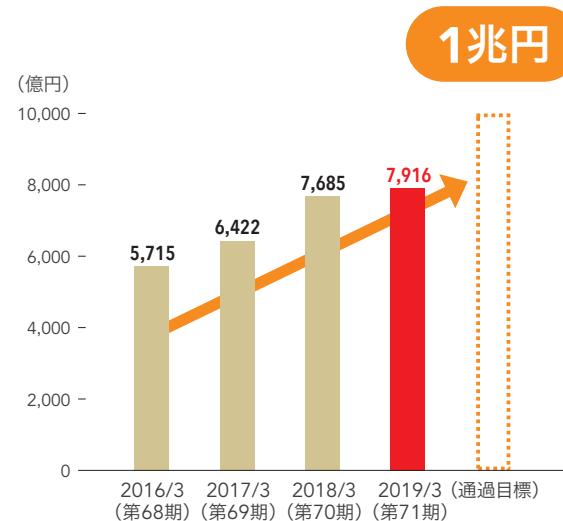
決算説明会関連資料

Check!

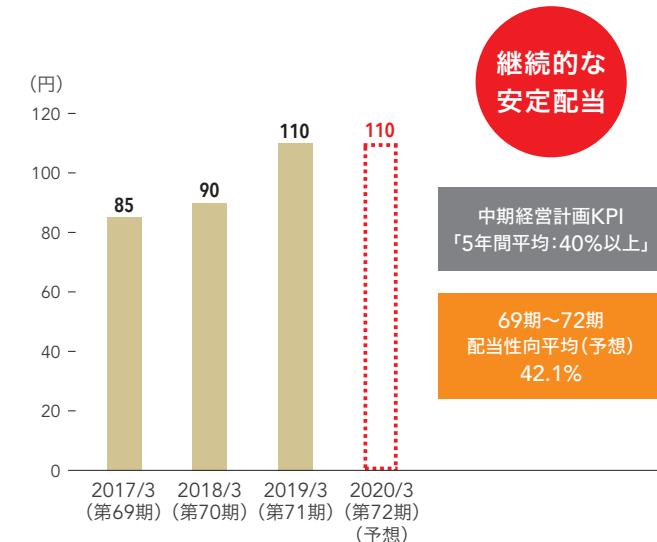
中期経営計画ハイライト

※修正した中期経営計画を元に作成しています。

時価総額※1※2



1株当たり配当金



主な中期経営計画指標

指標	2018年3月期(第70期)	2019年3月期(第71期)	2021年3月期(第73期)(目標)
調整後EPS(円)※3	263	225	284
ROE(%)	9.2	5.9	8.0

※1 第71期は2019年3月31日時点

※2 株価×発行済株式数(自己株式控除後—2019年3月31日時点は104,156,734株—)

※3 (営業利益±その他収益・費用—税金費用—非支配持分に帰属する当期利益)÷期中平均発行済株式数(自己株式控除後)

グループ製品紹介

NISSIN GROUP'S PRODUCTS

今日はどれにする？

日清食品

カップヌードル

味噌／歐風チーズカレー／しお



3種の味噌を合わせた濃厚仕立ての「味噌※」は、これまでの洋風「MISO」とは異なる和テイストに仕上げました。また、燻製の香りがクセになる「しお」、ビーフのうまみが詰まった「チーズカレー」を加えた3品を「新時代スタンダード」と名付け、新たな定番品として展開していきます。

※現在一時販売休止しており、大変ご迷惑をお掛けしておりますが、8月下旬に再発売を予定しております。

日清食品

おだしがおいしい
カップヌードル

肉だしうどん／鶏南蛮そば



「おだしがおいしいカップヌードル」は、シニア層に向けたお求めやすい価格の製品で、「カップヌードル」でおなじみの「あの肉」の味わいを生かしたおいしいおだしが特長です。豚とカツオのWだしをきかせた甘めのつゆの「肉だしうどん」と、鶏とカツオのWだしをきかせたすっきりとしたつゆの「鶏南蛮そば」の2品で展開していきます。

明星食品

明星

一平ちゃん夜店の焼そば

カラムーチョホットチリ味



湖池屋の人気スナック菓子「カラムーチョホットチリ味」と「一平ちゃん夜店の焼そば」がコラボレーションしました。スパイシーな辛さと旨さがガツンとくる辛口焼そばです。「カラムーチョ」を彷彿とさせるスパイシーなふりかけと一平ちゃん特製「唐辛子マヨ」が付いた「いっぺん食べたらやめられない。」味わいの焼そばです。

日清食品チルド

日清そのまんま麺
冷し中華

冷し中華 醤油だれ 2人前／
柚子おろしぶっかけうどん 2人前



麺をゆでる必要もなく、流水でほぐす必要もない、冷蔵庫から出してたれをかけるだけで、まさに「そのまんま」冷たくおいしく食べられる究極の時短調理チルドめん。爽やかな酸味の醤油だれ冷し中華、すっきりとした柚子おろしぶっかけうどんは、暑い日にぴったりの涼味麺です。ぜひご賞味ください。

日清食品冷凍

冷凍 日清中華
上海焼そば 大盛り

オイスターソース味



「冷凍 日清中華 上海焼そば 大盛り」は中華料理店で提供される本格的な上海焼そばを電子レンジで手軽に楽しめる具付き冷凍焼そばです。風味豊かなオイスターソースがベースの、味わい深い中華ソースが特長です。6種類の具材を使用し彩り豊かに仕上げました。内容量は330gで、しっかりと食べ応えを感じられる逸品です。

日清シスコ

ごろっとグラノーラ

5種の彩り果実／
3種のまるごと大豆／
チョコナッツ



今年発売5周年を迎えた「ごろっとグラノーラ」はごろっとした存在感のある具にこだわることで、そのおいしさに磨きをかけてきました。今回のリニューアルでは主力製品である「5種の彩り果実」と「3種のまるごと大豆」で人気の具をそれぞれ増量。さらに具ood(グッド)なシリアルに進化した「ごろら」をぜひご賞味ください。

日清シスコ

こんがりブレッド
シリアル

フレンチトースト仕立て



パンのような味わいとうれしい栄養バランスを備えた、新しい「パン風シリアル」です。パン素材を使用したシリアル生地をオープンでこんがり焼き上げ、ザクとした食感を表現しました。人気の高いフレンチトースト風味で、具には大きめのいちごマンゴーをブレンド。ビタミンや鉄分も摂取でき、健康サポートも充実した製品です。

日清ヨーク

ピルクル

特定保健用食品



幅広い年齢層のお客様にご好評いただいている乳製品乳酸菌飲料の「ピルクル」は、昨年25周年を迎えました。消費者庁の許可を受けた特定保健用食品として、生きたまま腸に届く乳酸菌 カゼイ菌 (NY1301株)の働きにより、腸内環境を改善しおなかの調子を良好に保ちます。毎日のおなかの健康が気になる方に適した飲料です。



日清食品グループの製品情報はウェブサイト

<https://nissin.com/jp/products/>

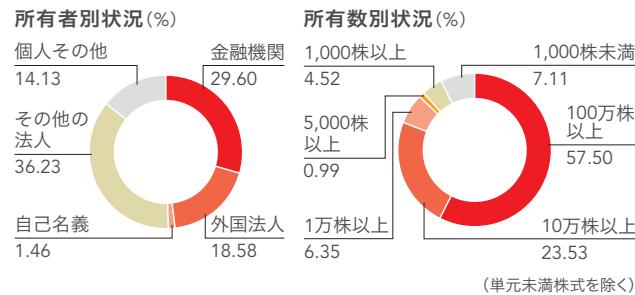
をご覧ください。

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号 日清食品ホールディングス株式会社
(NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.)
設立 1948年9月
資本金 25,122,718,774円
従業員数 703名(連結12,539名)
事業内容 グループ事業会社(国内・海外)への経営サポートなど

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 500,000,000株
発行済株式総数 105,700,000株
株主数 52,750名
単元株式数 100株
単元株主数 50,627名



大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	79,043	7.59
三菱商事株式会社	78,000	7.49
伊藤忠商事株式会社	54,000	5.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	45,123	4.33
株式会社安藤インターナショナル	39,455	3.79
株式会社みずほ銀行	33,750	3.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,706	3.24
ジェーピー モルガン チェース バンク	27,648	2.65
株式会社三菱UFJ銀行	22,735	2.18
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	20,495	1.97

※1 当社は、自己株式1,543,266株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
※2 持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数を分母として算出しております。

取締役および監査役 (2019年6月26日現在)

代表取締役 取締役社長・CEO 安藤 宏基
代表取締役 取締役副社長・COO 兼 日清食品(株)社長 安藤 徳隆
取締役・CFO 横山 之雄
取締役(社外取締役) 小林 健
取締役(社外取締役) 岡藤 正広
取締役(社外取締役)(独立役員) 軽部 征夫
取締役(社外取締役)(独立役員) 水野 正人
取締役(社外取締役)(独立役員) 中川 有紀子
常勤監査役 澤井 政彦
社外監査役(常勤)(独立役員) 亀井 温裕
社外監査役(独立役員) 向井 千杉

役員およびチーフオフィサー (2019年6月26日現在)

社長・CEO 安藤 宏基
副社長・COO 兼 日清食品(株)社長 安藤 徳隆
常務執行役員・CDO 兼 グローバルイノベーション研究センター所長 兼 グローバル食品安全研究所長 田中 充
常務執行役員・CFO 横山 之雄
常務執行役員 兼 明星食品(株)社長 三浦 善功
常務執行役員・CSO 本田 信司
常務役員 安藤 清隆
執行役員 兼 日清食品チルド(株)社長 伊地知 稔彦
執行役員・CPO(即席麺事業担当) 岩井 章
執行役員 兼 ぼんち(株)社長 遠藤 純民
執行役員・CIO 喜多羅 滋夫
執行役員 兼 (株)湖池屋 社長 佐藤 章
執行役員 兼 日清シスコ(株)社長 豊留 昭浩
執行役員・CRO 中井 敏雄
執行役員・CMO 深澤 勝義
執行役員・CLO 本間 正浩
執行役員 兼 日清ヨーク(株)社長 前田 健二
執行役員・CPO(低温食品・菓子・飲料事業担当) 山田 恭裕
執行役員 兼 日清食品冷凍(株)社長 吉田 広之
CAO 清藤 勝彦

株主メモ (2019年6月26日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
配当金受領	期末配当金 3月31日	特別口座の口座管理機関	
株主確定日	中間配当金 9月30日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
単元株式数	100株	事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
定時株主総会	6月中に開催(本年は6月26日に開催しました。)	郵便物送付先	〒168-8507
基準日	3月31日	およびお問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。(公告掲載URL) http://nissin.com/koukoku/	証券代行部	TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)
		上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部

ご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります)	株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

(2) 電子メールアドレスのご案内

当社は株主様からのご意見をお電話、お手紙のほか電子メールを利用してお寄せいただくための電子メールアドレスを設けております。当社についてお気付きの事柄がございましたら、次のメールアドレスまでご意見をお寄せください。

- ① 電子メールアドレス 0120938366@nissin.com
- ② ご連絡先 〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号 日清食品ホールディングス株式会社 総務部
TEL:0120-938-366(フリーコール)(土・日・祝日および会社所定の休業日を除く9:00~17:00)



大坂なおみ選手

WTAワールドランキング

1位※に!!!

日清食品所属の大坂なおみ選手が、グランドスラム2連覇の快挙を達成。当社グループは、世界中を沸かし続ける大坂なおみ選手を、これからも力強くサポートしていきます。

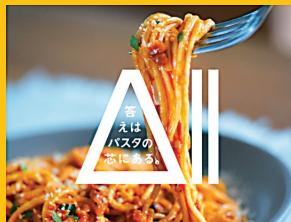
※2019年1月28日時点

“栄養摂取”と“おいしさ”どちらもかなう

完全栄養食「All-in PASTA」誕生!

カロリーは足りているのに、ビタミン・ミネラルなどの栄養不足が深刻化している現代では、1日に必要な栄養素を簡単に摂取できる「完全栄養食※」のニーズが高まっています。3月27日に発売した「All-in PASTA」は、1日に必要なすべての栄養※の1/3を簡単に摂取でき、おいしさも実現した製品です。新開発した日清食品独自の製めん技術「栄養ホールプレス製法」(特許出願中)で、茹でると失われやすいビタミンやミネラルをパスタの中心に閉じ込めました。日清食品グループ オンラインストアとLOHACOにて販売しています。

※厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年度版)」より抜粋「30~49歳男性の推奨量/目安量」をもとに、1日に必要なビタミン・ミネラルの1/3量を配合。



日清食品ホールディングスが

2018年度「準なでしこ銘柄」に選定

経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「なでしこ銘柄」において、「準なでしこ銘柄」に選定されました。「なでしこ銘柄」は、女性人材の活躍推進を積極的に実施している企業を選定・発表する取り組みです。当社グループは、「ダイバーシティの推進」を中期経営戦略の重点施策の1つと考え、その実現の第1歩として、「女性の活躍推進」に力を入れています。今後より多くの従業員が生き生きと働き続けられるよう、支援と環境整備を続けていきます。

